

令和3年度八代市 ICT 教育推進アドバイザーによる教育講演会

# 「AI 時代の社会、人材、 これらからの学び」

「GIGA スクール構想」に基づき、八代市では令和2年度末に全ての市立学校において1人1台タブレット端末を整備しました。授業等におけるタブレット端末の活用により、子供たちの学びも変わり始めています。

AI などテクノロジーの発展による変化の激しい社会において、これからの学びはどのようなものになるのか、そして、教員、親の役割はどのようなものに変化していくのかを一緒に考えましょう。



●日時: 令和3年8月22日(日)  
10:00~11:30

●方法: オンラインでのライブ配信

●内容: 講演及び質疑応答

●参加費: 無料

●対象: (本市立学校・幼稚園の)保護者、教職員等  
こみやま り え こ

●講師: 小宮山 利恵子 氏

(スタディサプリ教育 AI 研究所所長、  
東京学芸大学大学院教育学研究科准教授)

申込締切: 令和3年8月9日(月)

本講演会はインターネットを利用したオンラインイベントです。お申込みいただいた方には、アクセス方法等を記載したメールを事前にお送りします。下記の QR コードからお申込みください。(なお、当日参加ができない方も、講演終了後に一定期間 YouTube のアーカイブ(録画)を視聴できますので、ぜひお申込みください。)

また、講師への事前の質問も受け付けていますので、質問がある場合は、お申込みの際にご記入ください。

◆問い合わせ◆

【主催者】八代市教育委員会 学校教育課 担当(瀧川)

TEL 0965-30-1673

※インターネット環境がないご家庭で参加を希望される場合は、  
上記担当に直接ご連絡ください。

参加申込はこちらから

[https://forms.gle/  
soiXKwifoNetNJR8](https://forms.gle/soiXKwifoNetNJR8)



## 【講演タイトル】

### 「AI 時代の社会、人材、これらからの学び」



## 【講演の概要】

AI などテクノロジーの発展によって、社会が変化するスピードは年々早くなっています。それに伴い仕事や働き方も変化し、必要な能力も変わりつつあります。2020 年初頭のコロナはその変化を加速させ、ニューノーマルの時代に突入しました。これまで日本では ICT を用いた教育環境整備が他国と比較して遅れていましたが、コロナをきっかけに一気に整備されることになりました。2021 年 4 月時点で 97% の自治体で、小学生及び中学生は一人一台デバイスを使って学ぶこととなりました。コロナを契機に多くの領域で DX※（デジタルトランスフォーメーション）が行われていますが、教育も小手先の改善ではなく学び自体の抜本的な改革が求められています。この講演では、変化の早い社会の動きやそれに伴う必要な人材の変化、そしてここ数年の学びの変化を共有しながら、これからの学びはどのようなものになるのか、そして教員、親の役割はどのようなものに変化していくのか各々で考えるヒントになればと思います。

※「デジタルトランスフォーメーション（DX）」とは、「デジタル技術とデータの活用が進むことによって、社会・産業・生活のあり方が根本から革命的に変わること。また、その革新に向けて産業・組織・個人が大転換を図ること」（2020 年 5 月 19 日経団連「Digital Transformation (DX) ～価値の協創で未来をひらく～」）

## 【講師のプロフィール】



小宮山 利恵子（こみやま りえこ）

スタディサプリ教育 AI 研究所所長

東京学芸大学大学院教育学研究科准教授

1977 年東京都生まれ。早稲田大学大学院修了後、衆議院（国会議員秘書）、ベネッセ等を経て 2015 年リクルート入社。東京工業大学リーダーシップ教育院、「教育における ICT 活用促進をめざす議員連盟」、ANA などのアドバイザーを兼務。その他経団連 EdTech 戦略検討会座長等。留学経験は韓国、チュニジア、米国。一児の母。